

No.	010	—	1006	事務事業名	精神保健福祉事業						公的関与	1	
PLAN	課名	健康推進課		係名	成人保健係		電話番号	089-964-4407		メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営		実施計画	該当	事業期間	平成 2 年度	～	期間設定なし	
	総合計画	政策目標	1 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	1 生涯健康づくりの推進		主要施策	4 精神保健の推進				
	事業の目的	精神障がいを持つ当事者、家族、精神保健ボランティア、地区役員、市民に、精神障がい者の社会活動への参加の推進やこころの健康づくり及び精神障がい者福祉に関する正しい知識の普及、啓発を図るため。					根拠法令等	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律					
	事業の手段	デイケアの実施及び活動支援を通じて参加者の増加、理解の充実を行います。					掲載計画						
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	最終目標		
		相談・訪問件数		相談・訪問の延べ件数			件	目標	150	150	150	170	
								実績	122	135			
		デイケアの実施		参加者の延べ人数			人	目標	120	120	120	140	
								実績	114	107			
						目標							
						実績							
DO	活動内容	①	相談や家庭訪問				④	自立支援協議会への参加					
		②	デイケアの実施				⑤						
		③	地域家族会及び精神保健ボランティア活動支援										
	予算費目	会計	一般会計			費目名	衛生			費			
	直接事業費		令和 元 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	7 千円	1 千円	10 千円								
		一般財源	124 千円	120 千円	141 千円								
	計(A)	131 千円	121 千円	151 千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.572 人	3,570 千円	0.784 人	4,897 千円	0.784 人	4,864 千円						
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		3,701 千円	5,018 千円	5,015 千円									
一次評価者	成人保健係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	精神保健に関する相談や訪問件数は増加傾向にあり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が懸念される中、今後も必要性の高い事業だと考えます。また、家族会やデイ参加者の増加のため、周知等に努める必要があります。												
有効性	課題の性質上、良好な結果は数値として見えにくいです。相談内容は、個々で異なり対応方法もそれぞれ異なります。今後も係内や関係機関と情報共有し、事業の内容・方法を検討していきます。												
達成度	新型コロナウイルス感染症の感染拡大が懸念される中、係員で情報共有しながらケース対応しており、今後も継続して実施する必要がある事業と考えます。												
効率性	治療につながっていない人や既存の社会資源を利用できていない人もおり、個別の対応が必要です。関係機関との連携も必要です。												
当面の課題	新型コロナウイルス感染症や社会情勢により、こころの健康づくりの重要性は増してきています。解決すべき問題も多岐にわたるため、今後も関係機関と連携を密にし、より効果的な事業展開について検討していく必要があります。												
改 革 画	個別の支援を通して連携体制を充実させていくとともに、適切なニーズの把握と体制整備につながる協議を地域自立支援協議会等を利用して行います。												
二次評価者	健康推進課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	社会の複雑化とともに、精神保健福祉事業へのニーズは高まっています。相談や訪問、デイケアを通じて、精神障がい者の社会参加への支援ができています。今後は、各種事業のさらなる推進により、こころの健康づくりや精神保健福祉に関する正しい知識の普及を図る必要があります。												

No.	010	—	1009	事務事業名	健康教育事業							公的関与	4
PLAN	課名	健康推進課		係名	成人保健係		電話番号	089-964-4407		メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託		実施計画	該当	事業期間	平成 16 年度 ~		期間設定なし	
	総合計画	政策目標	1 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	1 生涯健康づくりの推進		主要施策	3 成人保健の推進				
	事業の目的	東温市に住民登録のある40歳以上の方が、健康づくりのための正しい知識と技術を学び、健康の保持増進を図るため					根拠法令等	健康増進法 高齢者の医療の確保に関する法律					
	事業の手段	健康教室及び健康相談を通して生活習慣の改善を図り、生活習慣病の発症及び重症化予防を目指します。					掲載計画						
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	最終目標		
		健康教室及び健康相談の実施人数		健康教室及び健康相談の実施者の延べ人数			人	目標	7,000	3,500	3,500	3,500	
		訪問による保健指導の実施人数		訪問指導の延べ人数			人	目標	600	350	350	350	
								実績	6,129	1,877			
								目標					
						実績	320	233					
DO	活動内容	①	健康教室及び健康相談の実施				④						
		②	訪問による保健指導				⑤						
		③	健康づくりに関する自主組織活動の支援										
	予算費目	会計	一般会計			費目名	衛生			費			
	直接事業費			令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算	備考						
		国・県支出金		524千円	289千円	393千円							
		地方債		0千円	0千円	0千円							
		その他特定財源		6,052千円	5,158千円	6,950千円							
		一般財源		4,574千円	3,595千円	5,131千円							
	計(A)		11,150千円	9,042千円	12,474千円								
人件費(B)	正職員工数・経費	1.386人	8,650千円	1.281人	8,001千円	1.281人	7,947千円						
	臨時職員工数・経費	2.149人	4,270千円	1.360人	2,697千円	1.360人	2,691千円						
全体事業費(A+B)		24,070千円		19,740千円		23,113千円							
一次評価者	成人保健係	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	1	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	事業の実施により、市民のニーズを把握し、健康づくりの正しい知識について情報提供を行っており、今後も健康意識の向上につながるものと考えます。												
有効性	事業を継続していくことにより、市民一人ひとりの健康づくりに対する意識の向上につながり、今後も継続した取り組みが必要と考えます。												
達成度	新型コロナウイルス感染症の影響で保健指導対象者を限定して実施する等の感染対策を行った事等により、参加者数は減少しています。また、訪問対象の見直しも実施し、訪問件数が減少になったと考えられます。												
効率性	市民一人ひとりの心身の状況や健康づくりに対する取り組みや考え方等に丁寧に対応し支援する事を継続していくことにより、市全域の健康意識の向上につながるものと考えます。												
当面の課題	市民の自主的な健康管理意識をさらに高める必要があり、個人・地域・組織のレベルでの取り組みを進めることが求められます。												
改計画	健康相談・健康教室・訪問指導・自主組織支援等で総合的に健康づくりに取り組みます。												
二次評価者	健康推進課長	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	1	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	生活習慣病の発症予防と重症化予防のためには、健康診査受診者を増加させ、継続的な保健指導や栄養指導を丁寧実施する事が重要です。本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、健康教室や健康相談の実施人数が目標を大きく下回っています。市民の健康管理意識の向上を図るため、行動の変容に繋がる高い動機付けとなるような働きかけが必要です。												

No.	010	—	1013	事務事業名	地域自殺対策強化事業							公的関与	4	
PLAN	課名	健康推進課		係名	成人保健係		電話番号	089-964-4407		メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.ehime.jp			
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託		実施計画	該当	事業期間	平成 18 年度 ~		期間設定なし		
	総合計画	政策目標	1 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	1 生涯健康づくりの推進		主要施策	4 精神保健の推進					
	事業の目的	・こころの健康に関する知識を深め、こころの不調時の対応や周囲の人に対しての対応等を身につけていただくため。 ・不安を抱える人に、相談できる窓口があることを知っていただくため。 ・周囲の人から相談を受けたときに、適切な対応ができるようにするため。 ・支援が必要な人が安心して過ごすことができるようにするため。					根拠法令等	自殺対策基本法						
	事業の手段	・こころの健康に関する知識の普及や自殺予防に関する啓発活動を行います。 ・こころの相談窓口の周知を行います。 ・ゲートキーパー養成講座を開催し、自殺対策を支える人材の育成を行います。 ・関係機関と連携し、支援が必要な方に対し、適切な相談支援を行います。					掲載計画	東温市自殺対策計画						
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	最終目標			
		SOSの出し方に関する教育実施回数		1年間のSOSの出し方に関する教育実施回数			回	目標 9 実績 0	9 0	9 /	9 /			
		自殺対策に関する広報活動を行った回数		1年間で自殺対策に関する広報活動を行った延べ回数			回	目標 2 実績 2	2 2	2 /	2 /			
		講座のアンケートで「自殺対策の理解が深まった」と回答した人の割合		各講座において、アンケートで「自殺対策の理解が深まった」と回答した人の平均割合			%	目標 80 実績 78	80 73	80 /	80 /			
		①		自殺に追い込まれようとしている人が安心して生きられるよう、庁内や地域における連携・ネットワークの強化を行いました。			④	携帯及びPCサイトを活用し、こころの健康状態を確認したり、正しい知識の普及を図りました。						
②		ゲートキーパー養成講座を開催し、地域における住民や勤務・経営者等、自殺対策を支える人材の育成を行いました。			⑤	こころの健康相談を行い、こころの健康に不安を抱える方に対して、精神科医師等による相談を実施しました。								
③		こころの健康講座を実施し、こころの健康に関する正しい知識の普及を行いました。												
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	衛生			費				
	直接事業費		令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算	備考								
		国・県支出金	208 千円			190 千円			343 千円					
		地方債	0 千円			0 千円			0 千円					
		その他特定財源	0 千円			0 千円			0 千円					
		一般財源	213 千円			195 千円			315 千円					
	計(A)	421 千円			385 千円			658 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.552 人	3,448 千円	0.552 人	3,425 千円						
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
	全体事業費(A+B)	421 千円			3,833 千円			4,083 千円						
CHECK・ACTION	一次評価者	成人保健係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
	項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
	必要性	新型コロナウイルス感染症が拡大している中で、自殺対策事業は住民のこころの健康づくりにつながる必要性の高いものであると考えます。相談窓口の周知方法や、普及啓発方法については、見直しを行いたいと考えています。												
	有効性	実施している講座により、こころの健康に関する知識を深めたり、相談事業により、支援が必要な人が今後の方向性を明確にすることにつながっており、今後も継続した取り組みが不可欠であると考えます。												
	達成度	東温市自殺対策計画に基づいて、事業を実施しています。庁内の関係課と連携した取り組みができるよう、自殺対策関連事業の実施状況の確認及び情報共有を行っています。												
	効率性	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講座の定員を減らす等しています。より多くの住民に普及啓発できるよう、見直しをしていきたいと考えています。												
	当面の課題	・窓口の周知や自殺対策に関する普及啓発をさらに拡大させたいと考えています。また、携帯・パソコンサイトのさらなる周知を図りたいと考えています。 ・新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、1回の講座の定員を減らしており、受講者が減少しています。												
	改革計画	・広報やホームページへの掲載方法を検討したり、市内の医療機関や企業等と連携した普及啓発を行っていきます。 ・実施した講座を広報やホームページ等で報告するなど、より多くの住民にアプローチできるよう見直しをしていきたいと考えています。												
二次評価者	健康推進課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実	
二次評価での指摘事項	自殺対策強化事業を活用し、こころの健康講座やこころの相談事業を行い、また、ゲートキーパーを養成し、自殺予防に関する取組が出来ています。新型コロナウイルス感染症の影響で自殺者の増加が危惧されるため、庁内関連部署や関係機関等との連携体制を強化する必要があります。													